

例会: 毎週水曜日 12:45~ 例会場: 勇屋会館 事務所: 安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

R.I 会長メッセージ TEL: 0263(73)2901 FAX: 0263(72)3181 E-mail: [azumirc@poppy.ocn.ne.jp](mailto:azumirc@poppy.ocn.ne.jp)



よいことのために  
手を取りあおう

会長 赤羽 隆 幹事 三原 雅

R.I 会長 フランチェスコ・アレツツォ ガバナー 小林 磨史

中信第一グループガバナー補佐 西堀恒司

クラブ標語【 WE HAVE A DREAM 】  
 《ロータリー親睦活動月間》



- ★ 配布 ・幹事報告 No.37 ・Rの友 6月号
- ・第2回臨時理事会報告

★ ゲストのご紹介

- ・米山奨学生 銭 楚方さん
- ブーティーユアンさん

★ 会長挨拶

【赤羽隆会長】

会員の皆様、こんにちは 今年度の例会も後2回となりました。先日、日経の「春秋」に AI について「AI は若者らに不自然な心の依存を生み（巨人軍の阿部監督の家庭内トラブルによる逮捕・監督辞任など）また自動化や効率化で戦争の形を変えつつある。システムの脆弱性を見つけ出すという話題のミュートスは世を当惑させた。そんな折、ローマ教皇レオ14世が「回勅」でAIを正面から取り上げた。人の尊厳を守る共通善(コモン・グッド)の見地から、効率で人間ができてきているような考え方が、人の交わりなどの大切な側面を排除しないか警鐘を鳴らしている。人間が操作対象や資源のごとく見なされかねない趨勢に強い口調で反対している。」と書かれていました。バチカンのホームページを調べてみると「マニフィカス・フマニタス」教皇レオ14世の初の回勅という長文のニュースが載っていました。回勅とは全世界のカトリック教会、全人類に向けた教皇からのメッセージです。レオ14世は其中で、現代社会が直面している「経済的格差の拡大」AIをはじめとするテクノロジーの進化の裏にある「人間の孤立」そして「地球環境の危機」について、深い憂慮を示されました。「私たちは、自らの利益だけを追求する『無関心の文化』から脱却しなければならない。他者の痛みに寄り添い、共に歩む『連帯の精神』こそが、この分断された世界を修復する



唯一の道である。」と述べられています。宗教の枠を超えて、我々に強く迫る言葉であると思います。ロータリーの根本にある「超我の奉仕」はまさに自分という枠を超えて、社会のために行動を起こすという「連帯の精神」と共鳴していると思います。私の任期も後わずかですが、二木さんに無事にバトンを継承していただき、クラブの連帯を深め、あづみ野 RC が力強く発展することを願っています。

★ 幹事報告

【三原雅幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 17 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(5月20日修正出席率)
出席者: 10名	欠席者: 6名
欠席者: 6名	メ・キャップ: 3名
出席率: 63%	出席率: 82%

★ ニコニコ BOX 報告

- 赤羽: 本年度の例会も後2回です よろしくお願ひします。  
銭さん、ユアンさんをお迎えして
- 三原: 通常例会、本年度最終です。  
一年間ありがとうございました。
- 笠原: 米山奨学生お二人をお迎えして
- 濱: 米山奨学生 銭さん、ユアンさんようこそ!!  
台風6号は大福なく良かったです
- 下里: 赤羽年度も残り少なくなりました。
- 小穴: 赤羽年度 最終月となりました。米山奨学生の銭さん  
ユアンさん!本日も宜しくお願ひします。

藤森：赤羽年度も残り一か月足らずとなりました。  
ありがとうございました。

場々：いよいよ、1年も終わりですね。

二木：本日もよろしくお願いします。

丸山(●)：あと2回の例会で本年度終わりですね。  
よろしくお願いします。



[計 10 件 17,000 円]  
今年度のニコニコ BOX 計 611,500 円



【赤羽隆会長より銭さんユアンさんに奨学金の贈呈】



【藤森康友カウンセラーに委嘱状の伝達】



ロータリー米山記念奨学会より、クラブ創立記念特別寄付に対する表彰盾を拝受いたしました。  
これは、当クラブの創立記念事業の一環として行った特別寄付に対し、その功績が認められたものです。会員の皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

## 本日のプログラム

### 1年を振り返って委員長報告

#### ◎クラブ奉仕委員会 【小穴実委員長】

赤羽会長のもと、「クラブの魅力を引き出し、未来へつなぐため」を委員会活動目標としました。

会員増強部門では、年度当初より最先良く黒澤幸恵さんの入会があり、40周年記念式典までにはもう二人くらいの入会を願いましたが、今現時点(6月1日)では黒澤さんお一人となっております。

すでに会員の皆様には、クラブ運営が危機的な状況にあるということをご理解頂いておりますので、安定クラブ運営に必要な25名を目指し、引き続き会員増強をお願い致します。

後半に入り藤森茂会員より体調不良ということで退会の申し出があり、今末期での会員数は17名と緊迫な状態に入っております。

親睦部門では、月一の夜間例会、納涼・クリスマス家族例会、松本市中4クラブ合同夜間例会、信州友愛クラブとの交流会、など笠原親睦活動委員長のもと有意義にこなすことが出来ました。

公共イメージ向上部門では、社会奉仕委員会とのコラボレーション活動として古着 De ワクチン活動を ANC 体育館で行うことができました。会員の皆様から多くの古着のご提供を頂き今年も盛大に出来ましたことを感謝しております。

他、プログラム委員会、ニコニコ出席委員会、デジタル化推進委員会でもそれぞれの成果が出ております。

以上掻い摘んで報告いたします。

#### ◎職業奉仕委員会 【中村忠委員長】

今年度は職業奉仕とデジタル化を考え、AIについての勉強会をさせていただきました。

弊社の問題点となっている、属人化の解消、新人育成のスピード、現場対応力の底上げなど、弊社が取り組んでいる事例を基に発表させていただきました。

皆様のご参考にしていただければ幸いです。

#### ◎社会奉仕委員会 【藤森康友委員長】

本年度、社会奉仕委員会では「UNITE(団結)」を一つのテーマとして活動に取り組んでまいりました。

社会への奉仕活動は、地域へ向けた行動であると同時に、私たちロータリアン自身が奉仕の意義を共有し、心一つにする機会でもあります。その意味で、奉仕の原点は会員一人ひとりの意識と自覚にあり、まずクラブ内における「UNITE」があってこそ、地域社会へのより良い奉仕へとつながるものと考えています。

あづみ野ロータリークラブでは、具体的な活動として「三角

洲(島)ロータリーの森プロジェクト」を創設し、長年にわたり継続して参画してまいりました。この活動は決して派手なものではありませんが、会員有志をはじめ地域の皆様が世代を超えて参加され、自然散策や観察会などを楽しみながら交流を深める機会となっています。

また、米糠を燃料として炊き上げる「ぬかくど隊」による玄米と岩塩のおにぎりを昼食としていただくなど、普段の生活ではなかなか体験できない貴重な時間も共有することができました。

活動を通じて私たち自身も、故郷の自然や地域との結び付き、そして奉仕の喜びを改めて実感することができました。参加された皆様の笑顔に触れるたびに、奉仕とは与えるだけではなく、自らも多くの気づきと喜びを受け取る営みであることを教えられます。こうした体験や実感をクラブ内で共有し、さらに地域の仲間へ発信していくことも、ロータリアンに求められる大切な役割の一つではないでしょうか。奉仕の魅力を伝え、人と人とのつながりを広げていくことは、まさにロータリーの理念を実践することにつながると考えています。

人間関係が多様化し、時として希薄になりがちな現代社会において、人は孤独を楽しむ一方で孤独への不安も抱えています。そのような時代だからこそ、「UNITE」というメッセージには、人と人とを結び、地域を照らす大きな力があると感じています。

本年度の活動を振り返ると、実践そのものは小さいながらも確かな一歩を踏み出すことができたと思います。しかし、その思いがどこまで会員一人ひとりの意識の中に浸透したかについては、なお課題も残っています。だからこそ、今こそ動き続けることが大切です。

一歩とは、後退でもなく、足踏みでもなく、前へ踏み出すこと。これからも地域とともに歩みながら、奉仕の輪を広げ、ロータリーの魅力と価値を伝える活動を続けてまいります。

### ◎国際奉仕委員会 【場々洋介委員長】

ロータリークラブが世界に広がるさまざまな戦争や紛争を解決することは未知数ですが、平和な世界を求め飢餓や復興 健康面でサポートすることは可能であり私たちロータリアンの使命だと痛感しています。小さな活動ですが、ポリオ根絶に期待がかかります。

本年度は昨年に引き続き「古着 de ワクチン」を10月に実施しました。

3回目の地区補助金の利用でした。1回目は大成測量で、2回目は市民タイムス安曇野支所で、そして今回は安曇野市ANCアリーナで実施しました。

また 職業奉仕の一環で新設の体育館の見学を兼ねて行いました。多くの方が健康のため努力している姿が印象的でした。

### ◎青少年奉仕委員会 【田野陽子委員長】

令和8年1月24日(土)～25日(日)に開催された中学生バスケットボール安曇野大会(あづみ野ロータリーカップ)に協賛しました。平成23年以降、継続的に支援を行っている大会ですが、近年は、安曇野市内の中学校以外からの参加も増え、また学校単位以外の地域クラブチームの参加もあります。ますます活気ある大会となっています。日々の練習の成果を発揮できる場所づくりに今後も共催できればと思います。



### 第46回中信平8クラブ合同親睦ゴルフ大会

2026年5月31日(日)

松本カントリークラブにて

当クラブからは濱昭次会員、笠原明仁会員、中村忠会員、下里守会員の4名が参加されました。

